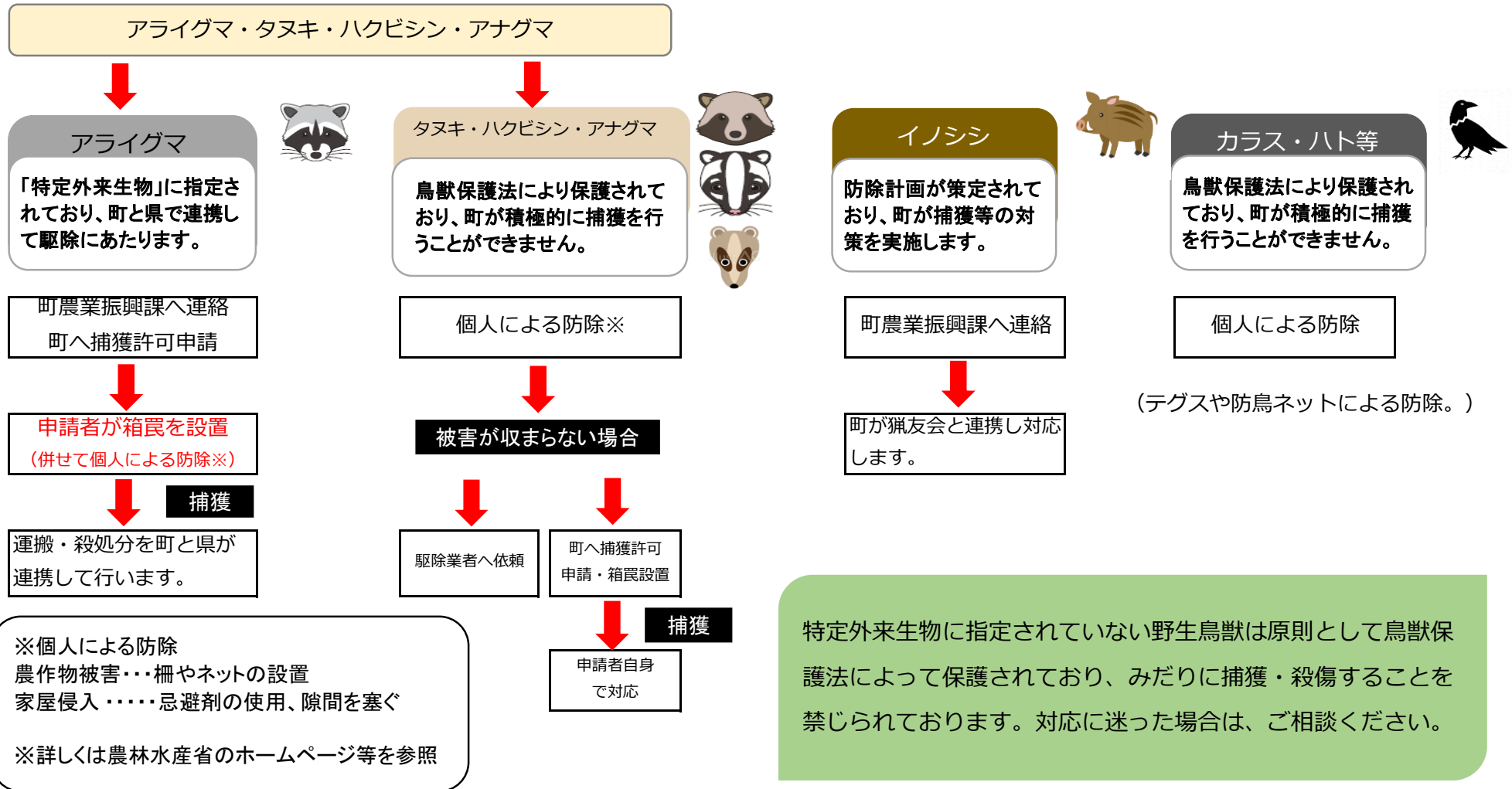


# 鳥獣被害について

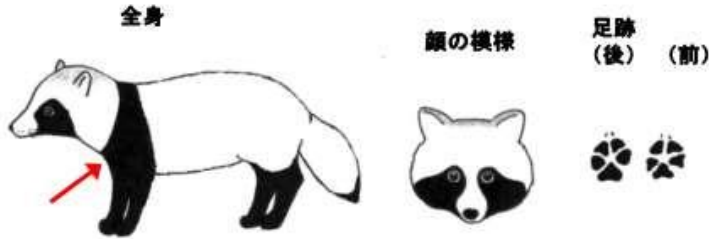
農地や住宅地における鳥獣被害の対応フローは、次の通りです



## 形態的に類似した種との識別点

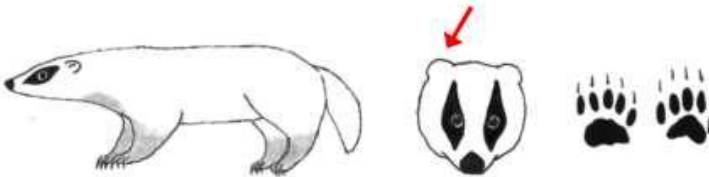
### タヌキ

- ・前肢から肩にかけて黒い帯がある。
- ・四肢は黒色。
- ・指は4本で、イヌに似ている。



### アナグマ

- ・四肢は短く、褐色か黒色。
- ・耳は小さく先端が丸い。鼻が大きい。
- ・指は5本で、湾曲した長い爪がある。



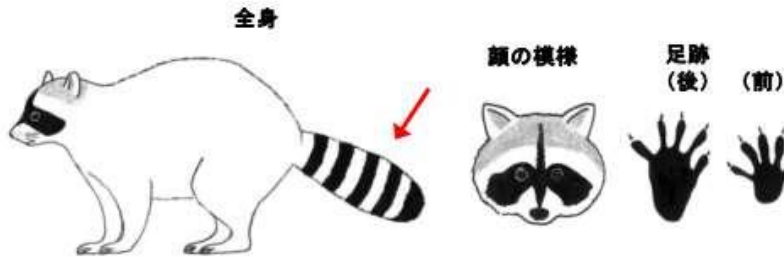
### ハクビシン

- ・尾が長く、体の長さと同様。
- ・鼻から後頭にかけて白い帯がある。
- ・指は5本。



### アライグマの特徴

- ・体重は4～10kg。
- ・尾を含めた長さは60～100cm。
- ・尾の黒い縞模様(5～7本)が大きな特徴。
- ・指は5本で、細長い。
- ・爪は短く、湾曲しない。



## アライグマについて

外来生物法に基づき、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすものとして指定された特定外来生物です。特定外来生物は飼育・栽培、運搬、保管、輸入、譲渡等が規制されています。

|     |  |
|-----|--|
| 原産地 | 北米及び中南米原産で、日本では1970年代に飼育個体の逃亡や遺棄などにより自然繁殖しました。全国で生息が確認されています。                                  |
| 形態  | タヌキによく似ていますが、眉間の黒い筋や尾の縞模様、手足の形状が異なります。成獣では頭胴長40～60センチ、尾長20～40センチ、体重2～12キロ。リング状の縞模様がある長い尾が特徴です。 |
| 食性  | 雑食性。環境の状況に柔軟に対応して様々な餌を食べます。  |
| 繁殖  | 発情・交尾期は2～3月で、約2ヶ月の妊娠期間後に平均3～5頭の子を出産します。なお、茨城県での出産数の平均は4.52頭です。                                 |
| 行動  | 一般的に夜行性で、冬眠しません。幅広い生息環境に適応します。   |
| その他 | 足指が長く前足を器用に使うことができ、木登りや泳ぎが得意です。成獣になると気性が荒くなり、力も強くなります。   |

**注意！** 目に見えない寄生虫が寄生していることや病気に感染している可能性があるため、素手で触ることや餌付けなどは絶対にしないでください。

### タヌキとの違い

